

半田市長

久世孝宏 様

半田市政に関する
要望について

令和3年8月10日

半田商工会議所

半田市政への要望

半田市におかれましては、日頃は当所事業活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また市内産業の振興、市民生活の向上にご尽力をいただき、重ねてお礼申し上げます。

これまで幾度となく社会経済の変化に適応してきた私たち経営者は、昨年来の新型コロナウイルスによる環境の変化により、経営の根幹を見詰め直す岐路にも立ち、本質を問いつける渦中にいます。公衆衛生意識の高まりと連動する社会的な行動抑制は、人々の心的不安も増加させ、日本経済の活性化のキーともされる個人消費の低下、消費意欲の減退を招き、足元の地域経済は、停滞の状況から抜け出すには至っておりません。

当所が、四半期に一度実施している景気動向実態調査では、令和 2 年 6 月調査を景気の底として段階的に回復基調で推移しているものの、令和 3 年 6 月調査においても、足元の景況感は、新型コロナウイルス禍以前の指標には程遠く、更に過去 3 か年の時系列をみると、半田は全国に比べ、景気の回復が遅く、来期（次の 3 か月）も慎重的にみる傾向が継続しています。また、経営課題では、「需要の停滞」、「ニーズの変化」が上位となり、それまでの 2 か年の傾向であった「従業員の不足」、「仕入・諸経費の単価対応」から入れ替わるかたちとなっています。

見通しの効かない地域経済の情勢のさなか、新型コロナウイルス感染症がもたらす事業者の不安を少しでも解消するべく、半田商工会議所は『安心を届ける企業支援』を第一に取り組み、公的制度の利活用を促す相談対応を強化するとともに、金融機関、行政等関係機関と協調した、当地域ならではの「連携支援」を実施してきており、更には、長期化する経済活動の停滞、変化し続ける社会経済に適応し、来たる時代に備えるべく、『経営の足腰を強化する企業支援』を進めているところであります。

長く続くコロナ禍。私たちは、ただコロナに苦しめられていただけではなく、そこから多くのことを学びました。デジタル化の遅れや、ニーズの変化への対応、有事への備えの欠如など、課題の大部分は以前からも指摘されていたことであり、目新しいものではありません。しかしコロナは、それを誰の目にも明らかにし、またそれに対処すべき時間軸を劇的に短縮させました。地域全体で克服すべき課題を共有した今こそ、デジタル活用や企業規模を問わないビジネスの変革、「ひと・もの・かね」の経済的要素が地域内で好循環する「真の地方創生」などの取り組みを加速させていく好機であります。

地域の力は、そこに住み、学び、働き、集う「人」が原動力です。産業振興はもとより、半田の魅力創造・発信を通じた定住・交流人口の拡大に注力し、半田の明るい将来像を描くことが必要です。市民が内外に誇れるまちづくりの推進、地域特性を最大限に活かした個性ある地域創生の実現が図れるよう、半田市の力強いイニシアチブを期待し、以下のとおり要望いたします。

従前より当所からの要望についてご高配をいただいているところではありますが、将来を見据えた地域経済の活力創造に向けた事項を改めて要望を申し上げます。当所としましては、半田市とともに手を携えて取り組んでまいりたい所存ですので、特段の配慮をいただきますようお願い申し上げます。

《要望事項概要》

I. 中小企業対策の充実

地域中小・小規模事業者の持続的な経営を可能とする基盤強化と、下支え、後押しする支援

II. イノベーションと雇用を創出する振興策の積極的推進

地域中小・小規模事業者の潜在力を引き出し、地域全体の価値創造と安定的な雇用を創出する戦略的かつ積極的な振興策の策定、推進

III. 魅力あるまちづくり、まちの活性化促進

半田のまちが持つ潜在力を引き出し、社会構造の変化と社会基盤整備によるまちの変化を機と捉えたまちづくりの推進

IV. 観光・文化振興支援施策の拡充

地域経済、まちづくりにイノベーションを吹き込み、市民の地域愛を醸成する観光・文化振興の積極的推進

V. 防災対策の強化推進

大規模自然災害や経年劣化に備えた社会基盤の強靱化と有事への対応力（仕組み）の強化を図り、市民・企業市民に安心をもたらす基盤整備

VI. 都市基盤・環境整備の推進

企業の生産性向上にも資する都市基盤整備、脱炭素社会に向けた今からできる官民の取り組みがもたらす半田市の価値創造

I. 中小企業対策の充実

1. 公共発注・公共調達を通じた地域企業の健全な発展の促進

- ① 地域中小・小規模事業者が“活きる・活かされる”施策の制度化
- ② 原材料等市場価格の変動を的確に反映した発注価格について、事前積算段階からの見直しの実施
- ③ 改修工事等における事前積算根拠に基づく発注価格の見直しの実施
- ④ 公共事業の市外受注企業に対する地元企業活用の徹底

2. 消費喚起の促進

- ① 既存補助制度の利用促進
 - ・ 木造住宅の耐震化と地元企業の受注促進をもたらす『耐震改修費補助（木造住宅）』の令和4年度以降の継続実施、周知徹底
- ② 地域で実施する消費促進事業への支援
 - ・ 半田市商店街連合会、半田市観光協会、商工会議所等が実施する消費促進事業への支援
 - ・ 醸造文化を活かした地域振興の取り組みである「醸-KAMOSU-」の事業展開への半田市の参画と当所、関係機関、事業者等との協働、及び支援

3. 販路拡大への支援

- ① ふるさと納税制度の戦略的推進
 - ・ 市内事業所の活性化につながる返礼品の魅力向上への支援、発信力の強化
- ② 企業の販路開拓への支援
 - ・ 各種商談会等への出展費補助

4. 地元企業への就職促進支援

- ・ 地元企業への就職を促進する補助制度等支援策の確立、強化

5. 生産年齢人口の減少、人材流出の抑制、生産性向上への支援

- ① 多様な人材（性別・年齢・国籍）の多様な働き方の推進
 - ・ 現役世代の「介護離職」を防ぐための支援
- ② 外国人の生活環境向上と多文化共生の推進
 - ・ 在住外国人、就労外国人の定時的な実態把握
 - ・ 外国人就労者への日本語教育の強化
 - ・ 多文化共生を担う組織編制、ならびに予算措置
- ③ 『健康経営』の推進
- ④ 『SDGs』の推進

6. 起業を応援し、事業承継を後押しする支援

- ① 半田が創業の地となり、更には企業の定住化を促す環境づくりと支援施策の策定
- ② 市・商工会議所・金融機関の連携による事業承継を地域全体で支える仕組みづくり
 - ・ 後継候補者（人材・企業）の育成及びマッチング等、事業承継支援策の策定

Ⅱ. イノベーションと雇用を創出する振興策の積極的推進

1. 企業、研究機関等誘致の推進

- ① 令和9年度を開発時期とする石塚地区の工業団地における戦略的な企業誘致の推進と周辺の都市機能とをつなぐ社会基盤整備
- ② 地域の強みや産業構造、2050年カーボンニュートラル等社会的変革を捉えた企業、研究機関等誘致の推進
- ③ 既存の進出企業の将来にわたる安定的かつ発展的な操業につながる優遇制度の拡充

2. 地域との共生

- ・ 進出企業に対する地域経済団体及び自治会への加入要請の継続

Ⅲ. 魅力あるまちづくり、まちの活性化促進

1. 中心市街地の価値向上

- ① クラシティの活性化
 - ・ クラシティ3階への来訪者に対する階下の商業フロアへの誘導強化
 - ・ クラシティ4、5階市営駐車場の利用促進と駐車場利用料金の見直し
- ② 地域の活用
 - ・ 知多半田駅前ロータリー及び歩道部分の有効活用
 - ・ JR武豊線半田駅付近の高架化を踏まえた駅前地区の商機能確保への施策と高架下の有効的な利活用

2. 半田のまちに活力を生む支援

- ・ 商業施設助成事業の令和4年度以降の継続実施、および助成金額の拡充
- ・ 老朽空き家の所有者に対する取り壊し指導、および取り壊し費用の助成、制度周知の強化
- ・ 主要観光施設と連携した賑わい創出イベントへの継続支援

3. 歴史的建造物の保存活用への支援

- ・ 歴史的建造物など観光スポットの活性化促進

4. 新半田病院建設地域の開発

- ・ 交通アクセスや周辺の都市機能等、利便性の確保
- ・ 新半田病院を含む計画的な地域づくりの推進

5. 将来都市像を見据えた今から取り組む施策

- ・ 地域企業への波及とまちづくりへの先導を伴う、デジタルトランスフォーメーション（DX）への対応支援やMaaSへの着手等、将来都市像を見据えた取り組み

IV. 観光・文化振興支援施策の拡充

1. 山車・蔵・南吉、赤レンガを中心とした観光振興策の推進

① 地域活性化（回遊性向上）のための環境整備

- ・ 駅前に半田のシンボリックな構造物設置と来街者への印象形成
- ・ 広域連携の強化、インバウンドの効果向上に資する支援
- ・ 山車文化、祭礼文化等、文化の発信拠点づくり
- ・ 他の自治体や関係事業者との連携による「醸・KAMOSU-」の更なる地域ブランド化促進
- ・ 半田の地域資源を活かした関連商品開発支援
- ・ 半田運河東側沿い味噌蔵エリアの体験型・醸す施設のPR促進
- ・ 「知多酒で乾杯」の普及と推進の継続

2. 半田の文化振興を生かしたまちづくり

- ・ 半田市の文化力を高め、文化高揚を促す施策の実施
- ・ 半田市の文化・歴史の発信による、来街者の創出、インバウンド需要への波及

3. 将来都市像を見据えた今から取り組む施策

- ・ 観光型MaaS事業への取り組み

V. 防災対策の強化推進

1. 防災・減災の強化と広報・教育の拡充

- ・ 衣浦大橋（北側トラス橋梁）の早期架け替え整備による減災強化
- ・ 老朽化公共インフラの早期更新整備による減災強化、及び緊急物資等円滑な運搬に繋がる市内緊急輸送路の継続的な整備確保

VI. 都市基盤・環境整備の推進

1. 道路網の機能強化、早期整備

① 渋滞緩和策

- ・ 衣浦大橋の抜本的渋滞緩和策としての衣浦海底トンネル通行料の低廉化及び料金所のETC設置を含むキャッシュレス化
- ・ 右折専用レーン及び矢印式信号の設置（十一号地東交差点、浜田町2、3交差点等）

② 道路交通安全対策

- ・ 交通量増大に適応した道路（歩道）整備及び交差点の信号設置（環状線浜田町1交差点以南道路、日東橋北側交差点）
- ・ 県道256号 乙川吉野町交差点手前に設置している「高さ制限バー」にかかる大型車両の通行課題と退避場所の確保

③ 公共交通の活性化、利用促進

- ・ ごんくるバス（コミュニティバス）の有効活用
- ・ ごんくるバス活性化に向けた官民共同の利用促進策の実施
- ・ 社会構造の変化を見据えた「M a a S」への取り組み

2. 環境対策の推進

① 臭気対策

- ・ 家畜糞尿を起因とする臭気対策の更なる推進

② 脱炭素社会の実現

- ・ 脱炭素社会に向けた事業所の取り組みに対する支援
- ・ 脱炭素社会に向け、中古住宅に対する省エネ性能アップに対する補助制度の創設

令和3年8月10日

半田商工会議所
会頭 榊原康弘